

令和4年度山岳コーチ2（専門科目）養成講習会 開催要項

1. 目的：

地域スポーツクラブ・学校登山部等の中心的指導者として事業計画を企画立案運営するとともに、年齢、経験及び技術レベルに応じた指導等を行い、自治体・自治体スポーツ協会または、岳連及び傘下の山岳団体が主催するイベントの企画立案運営を行う。

2.主催：公益財団法人日本スポーツ協会

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下 JMSCA）

3.主管：公益財団法人北海道スポーツ協会

北海道山岳連盟

4.カリキュラム 専門科目：日本山岳・スポーツクライミング協会が定める講習40時間 （集合講習会及び自宅学習）以上とし、検定評価及び論文記述の時間は含まない

5.実施方法：

集合講習会	赤岩小屋	2022年6月4日
実技指導法	赤岩	2022年6月5日、 2022年10月22日 安政火口周辺 2022年11月26日27日 2023年1月28日

6.受講条件：

- （1）受講年度の4月1日現在満20歳以上で、加盟団体・地域スポーツクラブ等において登山の指導にあたっている者、またこれから指導者になろうとする者。
「指導者マイページから」申し込みが出来る者
同一年度に共通科目Ⅱ講習会の申し込みを行う者
- （2）日本スポーツ協会（以下 JSPO）の所定の共通科目Ⅰ・Ⅱを終了あるいは終了予定の者
- （3）積雪期の登山経験が5年以上あること
- （4）11月から5月までの北海道内2,000m以上の積雪期登山経験が3年以上あること
- （5）無雪期に4級以上の岩場をリードできること。
- （6）都道府県山岳連盟に所属し、同連盟が認めた者以外は養成講習会の受講及び資格の取得・登録は出来ない。
- （7）受講有効期間内で講習の全日程に参加が可能である者。

7.講習会の実施方法：

カリキュラムに基づき北海道山岳連盟を主管として集合講習、自宅学習（レポート、実績）により実施する。

実施するにあたって、JMSCA に実施申請書を提出し、実施委託を受けた上で北海道スポーツ協会（別途定める申請書を提出）の承認を得て実施する。

8. 検定会の実施方法：

JMSCA 指導委員会が作成した養成講習会指導要領及び検定基準に基づき、主任検定員 1 名を含む複数の検定員で実施する。

9. 判定方法： 合格・保留の判定は、申請された検定会得点表及び山歴書に基づき、JMSCA 指導委員会が別に定める審査基準により決定する。
10. 受講にかかる経費：専門科目；1,100 円（独自開催スポ協会納入）
養成講習会は別途定める
11. 登録料（4 年間） 12,000 円 + α （地域山岳連盟で定めた金額）
初回登録時のみプラス 3,000 円
12. 登録更新のための更新研修
資格有効期限の 6 ヶ月前までに最低 1 回は JMSCA が定める研修会または JSPO[各都道府県スポーツ協会が実施する（認める）研修会を含む] 研修を受けなければいけない。但し、研修会の場合は参加者及び講師、講習会の場合は講師のみがポイントを得る。
13. その他 新型コロナ対策
新型コロナワクチン接種 2 回または 3 回以上が確認できるものを提出
体質的にワクチンが打てない場合は PCR 検査（3 日前）、抗原定性検査は検査日から 1 日以内（検査日プラス 1 日）を実施して陰性が確認できるものを提出
健康管理チェックシートの提出